
蓬萊町だより

第72号
平成20年1月25日
発行 蓬萊町会
編集 者 文 化 部

古今今來

池田 暉

昭和五十六年、今から二十七年前の八月二十三日に当時町会長をされていた海蔵寺住職久只貫一氏の本堂をお借りして「蓬萊町の一世紀を祝う会」が催されました。其の前年実施された国政調査に拠れば、世帯数七六三戸、男子九五七人、女子八五七人と在ります。蓬萊町の前身である「四軒寺町」ができたのは元文年間（一七三六）で「蓬萊町」と改名したのは明治五年（一八七二）です。当時の戸数は七十七戸、二五一人と記されています。「蓬萊町一世紀行事」の折に「蓬萊町を中心とした世事年表」を依頼され、浅学の頭を絞って小誌を作り参加者に配りました。その為の資料集めにいささか苦勞しましたので、翌五十七年一月から「蓬萊町だより」の発刊を企画、実行し、現在に到りました。ずぶの素人ばかりの編集者ですので様々な面でもたつきましたが、何とか今日迄続いてまいりました。特に、原稿収集には難渋しました。

単なる町会活動の報告だけでは一部の人の目に止まるだけで、読み捨てにされる率が高いので、何とか読者の興味を惹く原稿を入力する事を考えました。例えば四こまマンガを画いてくれる人は居ないものか肩の凝らない雑文を寄せてくれる方でも無いか、八方当たってみました。

或る時、ふとした出合いで戦前から蓬萊町に住み戦後は弥生町にお住まいの林順信氏と知り合い、氏の幅広い見識と気さくな気っ風から原稿を頂く幸運を得ました。氏は「日本神興協会」の相談役をされ、「汽車弁文化史」「都電の消えた町」「東京路上細見」等々の著書を残され、講演を頼まれては各地を廻った活動家でした。一昨年病に冒されお逝去されましたが下町気質の解る明るい方でした。次に蓬萊だよりに長年原稿をお寄せ頂いたのは、小生と同じ商店会で雑貨の店を開いておられた「サクラ屋」のご主人、上野 静氏です。氏は早稲田大学を出て雑誌社に勤め、日本随筆家協会のメンバーとして常に文筆を執って世事を活字に表現されてきました。どちらかと云うと口数の少ない方でしたが書かれた文の内容から見ると感性豊かなロマンチストでした。世が世なら芥川賞でも取れたかも知れませんが。この方も一昨年天国に召されました。この他にも多くの方々のお力添えで七十数号の「たより」を続ける事ができました。

話は少し飛びますが、一昨年行われました我が町の氏神である根津神社の遷座三百年大祭の盛大さはご存知の通りですが、戦禍に焼け爛れたお社を六十余年かけて立派に復元させ、昨今では、関東各地から観光客が集る「つじ祭」が定着した其の原動力は何なのでしょう。御神徳と言えば簡単ですが、「蓬萊町だより」三十一号に載って居る、内海 元名蒼宮司の「年輪を重ねて」を読みますと正に地域の方々の善意と熱意の集積が最大の力であったと思います。誰がどうと云う事では無く、誰もが小さな力を併せ続けて来た成果が実を成らせたのだと思います。蓬萊だよりも何とか後の世の人に良き指針と成る記事を繋げて欲しいと思います。

さて、小生も昨年喜寿を迎え、気力はさて置き、体力的には衰えを隠せません。蓬萊だよりの編集も何時中断すべきか迷って居りましたところ、先ごろ本城会長の意欲的なご先導で新しく気鋭な後継者を選定して頂く事と成りました。猪熊新編集長は奇しくも、前述した「一世紀祝賀行事」の本部書記として献身的な力を注がれた猪熊良晃氏のご子息です。お父上とは同年生まれの親しみから心許して行事の進行に力を尽くしました。遠からず黄泉の国でお日に掛かれるであろう良晃氏との浮世話が楽しみです。

鏡餅蓬萊町に住み古りて

南北

継承すること 本城 康 至

今年の正月は近年にない好日に恵まれ、平成二十年という区切りの年を印象づけてくれました。

この度、猪熊良一さんが池田暉さんの後任編集長を継承して下さることとなりました。池田暉さんがまとめて下さった町史に、たとえ断片的でも枝葉をつけていくのは私達の役目です。「蓬萊町だより」は、町のくらしの歴史の記録として、また町の思潮のあかしとして、後世に残すべきものです。

この号は、その実務的引き継ぎ号とさせていただきます。執筆諸氏には自由に今の所感を書いてもらいました。

池田さんには特にお願いし、巻頭の一文を執筆いただきました。池田さんの真摯な永い間のご努力に深く感謝申し上げます。

そして、猪熊新編集長を皆さんと一緒に支えて参りたいと思います。

検 査 青 木 喜 一

車はもともとメンテナンスをすることを前提に作られており、多くの部品は使用している間に各部が摩耗したり、劣化することが避けられない。そこで定期的な点検を行い、その結果必要となった部品交換を実施することが車とつきあつていく上で大切な事だ。点検整備には、定期点検と日常点検があり、定期点検は法律で定められた年一回の義務、日常点検は長距離ドライブの前や、洗車給油時な

ど日安に実施するとよい。

人の場合も年に最低一回は、健康診査を受ける事をお奨めします。保健所から知らせがあります。老人健診・節目健診いろいろあり嫌がらずに受ける事です。

人の場合、部品交換する事は出来ず、傷んだ箇所の治療を受ける事となります。私事です、去年は体をこわし、一年を棒に振ってしまいました。日頃の検査とケアを、大切にしたいと思います。

新年を迎えて 藍 原 紀 久 子

今年のお正月は晴天に恵まれ穏やかな日々でした。今年一年が平和で希望に満ちた良い年であることを願います。

皆様には、日頃の町会活動にご理解・ご協力を頂き有難く思つて居ります。町が安心安全な住み良い所である為には、人との繋がりを大切に、皆が協力しあつて生活環境を守つていかねばなりません。

蓬萊町会も少子高齢化の中にあり、子供の声もあまり聞こえなくなりました。若い世代の方々の力強い協力がないと町会の活動もこれまで通りとは行かないのではと考えます。しかし、近隣の町会に比べ大きなマンションの林立もなく、比較的古くからの住人が多く、顔見知りの方々の多い町だと思います。これは町会内の輪を作りまとめて行くには大変都合の良い事だと思います。最近他人との関係が薄れて来ている様ですが、防災防犯上からも是非ご近所とは親しくお付き合いを願ひ、町会

の行事には皆さん誘ひあつて参加をして頂ければと思います。

蓬萊町が出来て百周年の記念行事が昭和五十六年に行われてから二十数年も経ち、町会としての歴史も長く、先人達の築かれた良き町をこれからも守つて行く為に微力ながらお手伝いさせて頂きます。

この度「蓬萊町だより」創刊号からの長きにわたつて編集にご尽力頂きました池田暉様が勇退されました。改めてご苦労に対し深く感謝申し上げます。

文 化 部 大 畑 清 心

日頃は会員皆様のご協力を頂いております。平成十八年度には、最大な行事として、根津神社祭礼三百年祭がありました。最近では、各町会での運営面や、神輿の担ぎ手などの点で大変困難な状態と聞きます。当町会でも担ぎ手は、以前より神輿同好会やクラブの人達の助力を頂くようになりました。また、連合町会としても、合同の神輿を、出す様になつてきております。

今年もお祭りの年になりました。当町会では他町会と違い、担ぐコースがとても長く、コースの面でも見直しをしなければと思つております。皆さまの御意見を伺ひ、検討したいと思ひます。

平成も数えて早くも二十年になりました。成人を迎えた方は四名で、当町会よりお祝いさせていただきました。三月には、もちつきを予定しており、ご来場をお待ちしています。

防災部より 中島 行雄

明けましておめでとうございます。

昨年は、住宅用火災警報機の町会幹旋に多数の申込をいただき、ありがとうございます。我家の安全は自分で守ることが一番大事なのではないかと思っております。今後時々実施したいと思っております。

また、震災対策でも、やはり「自分の身は自分で守る」の考えが一番大事なことです。各家庭では、左記の(☆の件)再点検をしていただけますようお願い致します。

☆家屋の耐震診断、補強対策

阪神淡路大震災では、亡くなった方の八割以上が、建物崩壊による犠牲者とのことでした。

☆家具の転倒防止対策

家具の転倒、落下での「死亡」、「ケガ」が多数あったそうです。町会として転倒防止用品の幹旋が可能であれば、やりたいと思っております。

☆家庭で三日分の食料、飲料水の備蓄も必要とのことです。

そして、防災部としては、町内の災害要援護者の把握、防災協定井戸の点検整備、防災機材の購入、近隣町会との合同防災、避難所訓練を段階的に実施していきたいと思っております。

町会会員皆様のご協力宜しくお願い致します。

防犯部より 瀧口 逸策

明けましておめでとうございます。

昨年、平成十九年は駒込警察署管内での犯罪発生は平成十八年に比べますと減少しています。

犯罪発生の中でも特に振り込み詐欺の都内の発生状況の統計では振り込み詐欺の77・8%が「オレオレ詐欺」が占めている状況ですが「オレオレ詐欺」「架空請求詐欺」「融資保証詐欺」等は減少傾向にあります。しかし、新たな手口「還付金詐欺」が平成十八年七月から発生し、九十三件に対して、平成十九年は六百三件と急増しています。この新たな詐欺を含めると増加しています。

振り込み詐欺・還付金詐欺の被害を防ぐポイントとは

- ①まず、落ち着く事です。「すぐに振込みを」と言われたら「振り込み詐欺」を疑いましょう。
- ②トラブルを起こしたという本人や勤務先などに直接電話をかけ、事実確認をしましょう。
- ③「電話番号が変わった」と言われても、うのみにせず、これまでの電話番号に電話しましょう。
- ④振り込む前に、家族など、身近な人にまず相談しましょう。少しでもおかしいと思ったらすぐに警察に連絡しましょう。
- ⑤ATMを操作して、税金や医療費の還付を受ける事は絶対にありません。そういう連絡が来た時は、「還付詐欺」を疑ってください。

被害を防ぐのは個人になりますから、慌てず落ち着いて①⑤のポイントで冷静な対処が必要です。

新年から詐欺犯罪の話になりましたが、昨年は「偽」の年、そろそろ「信」といきたい所ですが、いろいろと世相が見え難くなってきました。まだまだ、新たな手口の犯罪が発生することは考えられます。

本年も犯罪対策の一環として、春・秋の「地域安全旬間」及び、年末の夜回りの実施、各種防犯集会への参加などを通じて、地域の防犯意識の向上へと、啓蒙ならびに連絡活動を行っていきたくと考えています。

地域環境の認識と、家人の防災意識向上等に、皆様のご協力宜しくお願いいたします。

婦人部 藤 関 芳 江

部員さん達の協力で、部の活動はスムーズに行われております。しかし、現在精一杯ですので、部の人だけでなく、部員以外の女性会員の方々とも、一緒に活動ができるようになったら嬉しいことです。町会の年間行事で婦人部全体で対応しているのは数回ですので、この時だけでも多くの女性会員のご参加・協力を戴けるように願っています。

また、若いお母さまやお子さまを対象とした活動、婦人部を勇退され、まだまだお元気で活躍できる方もいらっしゃいますので、幅広い年齢層の方々と一緒に、三代にわたり

楽しみながら、明るい町づくりの活動ができることを、平素から考えています。そんな中で、学童のスクールガードや一声運動が、防犯・防災に繋がって生きてくるのではないのでしょうか。

どうぞこれからも、町会・住民の方々のご協力を宜しくお願いいたします。

編集委員をお引き受けして

猪熊良一

「蓬萊町だより」は昭和五十七年の創刊号より数えて今七十二号で満二十六年になりました。歴代の編集委員の皆様のご尽力により、町の歴史や町会の行事記録等、掲載された記事が今では町の歴史を語る貴重な資料になっています。この度、永年にわたり編集委員の中心的存在として、創刊号より編集に携わってこられた池田暉氏が勇退されることになりました。池田氏をはじめとする編集委員の方々の精神を引き継ぎ、次号より新たな編集委員により、蓬萊町町内の広報活動をこれまでと同様に進めてまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

町会活動の概要

平成十九年六月から
平成十九年十一月まで

平成十九年

6/1 蓬萊友の会第32回総会

12 定例役員会

13 コミュニティゾーン最終報告会

17 向丘地区連合会研修会

6/26

盆踊り準備委員会
駒込防犯協会より蓬萊町会並び町会

長へ協力者表彰

7/7

地域と駒本小学校の将来を考える会
定例役員会

12

大観音盆踊り大会準備委員会
文京つっじ会総会

23

大観音盆踊り大会関係町会打合せ
根津神社総会

30

大観音盆踊り大会実行委員会
大観音盆踊り大会関係町会打合せ

31

大観音盆踊り大会実行委員会
大観音盆踊り大会実行委員会

8/8

大観音盆踊り大会実行委員会
大観音盆踊り大会(26日・27日)

10/12

大観音盆踊り大会実行委員会
根津神社例祭式

21

向丘地区青年婦人部連絡協議会
伊勢神宮遷座奉賛会

26/4

東京支部結成総会
部長会(下期予算配分)

11/4

防災協会役員会
定例役員会

12/28

新築マンション対策協議
向丘連合まつり



平成19年大観音盆踊り 決算報告

収 入		支 出	
名 称	金 額	名 称	金 額
協賛金(52名)	521,000	運営費	309,841
助成金(町会より)	300,000	施設費	246,496
屋台ム	142,100	事務費	23,578
ゲ	57,000	雑費	57,901
盆踊り予備費	7,870	御礼台	131,000
		屋台ム	146,783
		ゲ	112,371
合 計	1,027,970	合 計	1,027,970

上記の通り、平成19年大観音盆踊りの決算報告を致します。
平成19年10月12日
町会長 本城康至
会 計 池田秀俊
監査の結果、上記決算書は正確に処理されていることを認めます。
平成19年10月12日
会計監査 関根昌一

訃報

久野 健様 87歳 向丘2-25-15
山田 善子様 59歳 向丘2-38-9
福田 泰治様 80歳 向丘2-30-8
高島 正義様 96歳 向丘2-38-23
猪野 まり子様 91歳 向丘2-25-14
元町会長(15代)

心よりご冥福をお祈りいたします。

編集委員

本城康至 青木喜一 大畑清心
池田暉 猪熊良一